

令和元年度 第 8 回重信川学識者会議 会議概要

日時：令和元年 10 月 28 日（月）14:00～

場所：松山河川国道事務所 2 階会議室

■ 議事概要

1. 事業評価について

○事務局

- ・事業評価の概要、今回事業の再評価の位置づけに関して説明を行った。（資料-1）

2. 重信川総合水系環境整備事業の事業再評価について

○事務局

- ・かわまちづくり支援制度説明、事例紹介及び重信川かわまちづくりの概要説明を行った。
（資料-2-1）
- ・重信川総合水系環境整備事業の事業再評価の説明を行った。（資料-2-2）

○石川委員

- ・重信川かわまちづくりは非常に良い取り組みだと考えている。現在、IT 革命により便利な世の中になったが、一方、インターネット依存症、スマホ中毒が社会問題となっており、そういった中で、日本の森林浴がデジタルデトックスとして、欧米で話題となっている。
- ・山や川の自然は人間としての五感を活性化させるため、このような場が創出されることは、社会的にも素晴らしいことだと考えられる。

○羽鳥委員

- ・かわまちづくりの目的の 1 つとして、かわとまちを連携させていくことが重要と考える。連携を行う上で、重信川は、中心市街地と少し距離があるため、今のまちの取組みとかわをつなげるような取り組みがあるかどうかを教えてください。
- ・重信川かわまちづくりの費用対効果（B/C）＝19.6 と大変高い値を示しており、これは今後事業を進めて行く上での根拠となりえると考えられる。しかし、B/C が高いから積極的に事業を進めて行くというだけではなく、整備後の利活用を担保する上でも、ハードを整備しながら実験的に利用していくような進め方がよいと考える。また、事業整備の担い手となってくれる方々と連携を行いながらハード整備を行っていただくと良いと考えている。特に重信川工業団地前（リバースポット⑧）は現在、ほとんど利用がされていないと考えるため、整備しながら実験的に活用していただき、使い勝手のよいものにしてほしいと思う。

○事務局

- ・1 点目については、例えば、道後温泉や大型クルーズ船の寄港などで多くの観光客がきて

いるので、観光のアクティビティのひとつとして重信川サイクリングを提供できる。

- ・重信川工業団地前（リバースポット⑧）の活用については、使い勝手のいい空間となるよう東温市とも検討を進めている。

○羽鳥委員

- ・道後温泉から重信川まではかなり距離があると考えられるためオプションとしてはよいが、もう少し近くで既に取り組みをされている方々にかわに来てもらうという視点も重要と考える。
- ・開発霞（リバースポット⑨）の取り組みを重信川工業団地前（リバースポット⑧）で行うのは良いと思う。

○岡村委員

- ・上流側の工業団地で利用があまり行われていないということであるが、河川空間の利活用の面から、ドローンも含めた物流システムとしての活用も検討されているのか。

○事務局

- ・可能性はあると思うが、現在は、その検討には至っていない。

○高橋委員

- ・重信川かわまちづくりの取り組みは素晴らしいと考えている。しかし、近年の豪雨災害の影響から、防災面に関する文言も入れてはどうか。例えば、サイクリングロード整備に伴うアスファルト（コンリート）舗装により、堤防越水時における堤防決壊のリスクが軽減されるといった堤防強化に関する文言など。
- ・地域の人が喜ぶだけの整備と思われるため、防災面でも効果が期待できることを示した方がよい。

○事務局

- ・昨年、大きな出水があったために、防災に関する市民の関心も高まっている。それに伴い、私自身、地元の方々と話す機会も増えており、重信川かわまちづくりだけでなく、治水面もPRしたいと考えている。

○下條委員

- ・イベントに偏りすぎるのもよくないため、高齢者を含む全ての人が親しみやすいような環境整備を行うべきだと考えている。

○門田委員

- ・関東でも豪雨災害が発生しているが、治水上どうか。

○事務局

- ・大きな洪水になれば河川敷も浸かるため、確実な避難に繋がるよう河川情報の発信を適切に行って参りたい。関東のような豪雨が重信川に降ると相当な被害が想定されるが、現在、関東でも分析を行っていると思われ、それを踏まえた対応については、本省や本局から具体の指示があれば、必要な検討を進めていくことになると思う。

○鈴木議長

- ・B/Cが19.6と非常に高いが、アンケート配布の分布はどのようになっているのか。重信川

に近い方のみを選ぶことはできないと思うが。

○事務局

- ・住民基本台帳よりランダム抽出を行っているため、偏りはほぼ無いと考えている。

○岡村委員

- ・アンケート回答率が33%となっているが、重信川近傍の利益を感じる方の回答率が高かったということはないか。

○事務局

- ・地域毎に分析をしていないため、今後、分析したいと考えている。

○鈴木議長

- ・特に異議のあるような意見がなかったため、「重信川総合水系環境整備事業」については、事務局の原案通り、愛媛県の異議がないことを前提として、事業を進めて行くこととする。

以 上